

いいね！わが社の SNS

紙製品や化成品の製造を手がけるマルアイ
〓市川三郷町市川大門



「いいね！」
わが社の
SNS
♡5

X(旧ツイッター)
約31,000
フォロワー

Instagram
約5,900
フォロワー



マルアイ (市川三郷町)
代表者 村松 道哉社長

祝儀袋や封筒「映え」意識

紙製品・化成品メーカーのマルアイ(市川三郷町市川大門)は、X(旧ツイッター)とInstagramを使い、祝儀袋や封筒などの自社製品や使い方を発信している。

交流サイト(SNS)の運用を担当するチームのリーダーを務める宮崎千里さん(32)は「製品の宣伝でSNSが担う役割は大きい」と話す。特に、Instagramに掲載する製品の写真は「映え」を意識。「すてき」「買ってみたい」と思ってもらうには「ビジュアルが重要な要素になる」と説明する。

「親近感」も意識するポイントの一つ。製品や出展イベントの告知だけでなく、時には社内の「小ネタ」も織り交ぜる。敷地内の池で泳ぐコイの姿やチュールリップなどの写真を掲載。身近な存在として親しみを持ってもらいたい」と狙いを語る。

投稿内容はチームで事前に確認し合ってから発信。「不適切、不正確な情報を投稿してしまうことが万が一にもないように、付いた。

給料袋を模したデザインの写真やXで投稿したところ、約1200の「いいね」が

この「給料袋枕」は、昨年12月に横浜市内で開催された文具メーカーのイベント「文具女子博2023」の抽選の景品としてマルアイが数量限定で製造。いい夢がみられそう「米で(給料が)現物支給されたみたい」など多くの反応があった。

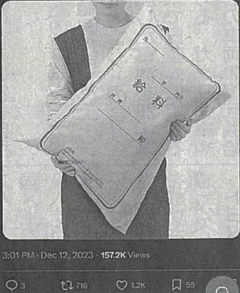
宮崎千里さんは「たくさんの人に興味を持ってもらえてうれしかった。今後も来場者が楽しめるユニークな製品を考案したい」と話した。

S戦略について、「当社の製品を知らず知らずのうちに使っている人も多いと思う。『これもマルアイが作っていたんだ』と知ってもらえるような投稿を増やしていきたい」と話した。

〈山本就巳〉
〓次回は9日に掲載します

マルアイの人気シリーズ、「ミニシリーズ」と「こころふせん」の中から3つ商品をご購入いただくと、ガラポンに1回チャレンジできます！

↓景品は全部で5種類↓



数量限定グッズの給料袋をデザインした枕の写真を掲載した投稿

3:01 PM · Dec 12, 2023 · 1572K Views